カメラ玄関子機
VL-V571L

モニター親機
VL-MWD501KL

ワイヤレス
モニター子機
VL-WD612

品名 **ワイヤレスモニター付テレビドアホン**

品番 **VL-SWD501KL**

もくじ

外形寸法図／付属品／仕様……2
- ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL……2
- 子機：ワイヤレスモニター子機　VL-WD612……4
- ドアホン：カメラ玄関子機　VL-V571L……6

各部のなまえとはたらき……7
- ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL……7
- 子機：ワイヤレスモニター子機　VL-WD612……9
- ドアホン：カメラ玄関子機　VL-V571L……10

システム構成図……11
- 別 売 品……12
- 連携できる機器一覧……13

使用上のお願い……15
- 電波について……16

設置上のお願い……17
- 設置場所について……17
- 工事について……18

配線系統図……19

ドアホンの取り付け位置を決める……21

ドアホンを取り付ける……24

ドアホン親機の取り付け位置を決める……25

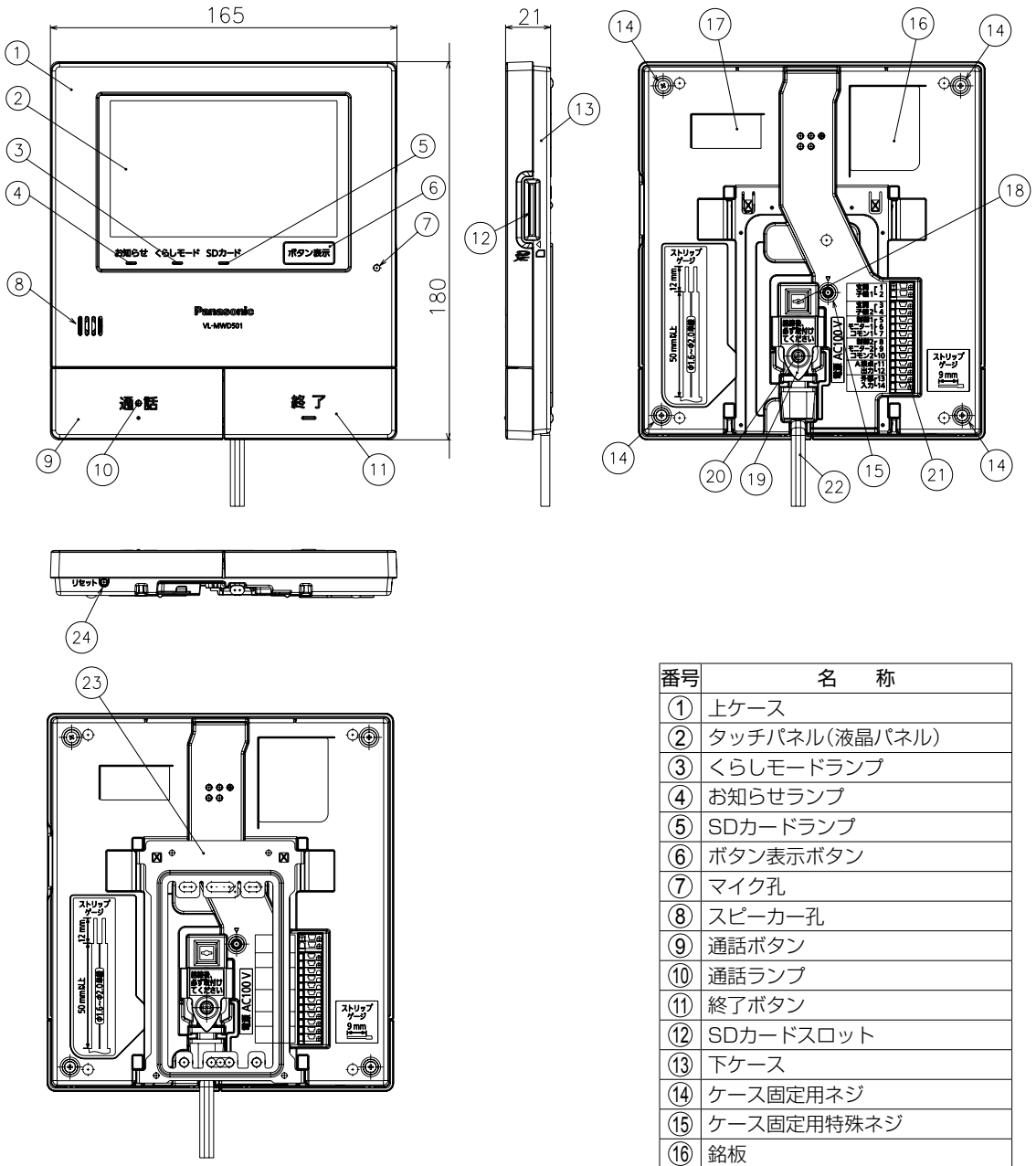
ドアホン親機を取り付ける……26
- 正しく動作するか確認する……29
- ズームに設定して使いたいとき……30

商品仕様書図	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	1/30

外形寸法図／付属品／仕様

ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL

単位 [mm]



番号	名　称
①	上ケース
②	タッチパネル(液晶パネル)
③	くらしモードランプ
④	お知らせランプ
⑤	SDカードランプ
⑥	ボタン表示ボタン
⑦	マイク孔
⑧	スピーカー孔
⑨	通話ボタン
⑩	通話ランプ
⑪	終了ボタン
⑫	SDカードスロット
⑬	下ケース
⑭	ケース固定用ネジ
⑮	ケース固定用特殊ネジ
⑯	銘板
⑰	シリアルNo.ラベル
⑱	AC端子
⑲	ACカバー
⑳	ACカバー固定用ネジ
㉑	接続端子
㉒	ACコード
㉓	壁掛け金具
㉔	リセットスイッチ

●電源コードを外すと電源直結式になります。

■付属品

- 壁掛け金具 …… 1個
- 壁掛け用木ねじ(4 mm×16 mm)…… 2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)…… 2個

■仕　様

電　　源	AC 100 V（50 Hz／60 Hz）
消　費　電　力	待ち受け時：約1.2 W、動作時：約8 W
外　形　寸　法	高さ 約180 mm × 幅 約165 mm × 奥行 約21 mm（突起部除く）
質　　量	約580 g
使 用 環 境 条 件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃、湿度：90 %以下
画　面　表　示	約5型ワイド　カラー液晶ディスプレイ
通　話　方　式	音声交互自動切替方式
取　付　方　法	露出壁掛け（壁掛け金具付属）
外　観　色　調	ホワイト
外　観　材　質	難燃性ABS樹脂
無 線 通 信 方 式	1.9 GHz TDMA-WB
A 接 点 出 力 ※1	定格負荷　　：AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷：DC 5 V／1 mA
外　部　入　力	入力方式　　：無電圧メーク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メーク時　：500 Ω以下 • ブレーク時：15 kΩ以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下

SDカードについて

対応カードの種類	SDメモリーカード※2：2 GB SDHCメモリーカード※3：4 GB～32 GB SDXCメモリーカード：48 GB、64 GB
画像ファイルの記録方式	静止画：JPEG 形式 動画　：QuickTime、Motion JPEG 形式
フォーマット	SDメモリーカード：FAT16 SDHCメモリーカード：FAT32 SDXCメモリーカード：exFAT

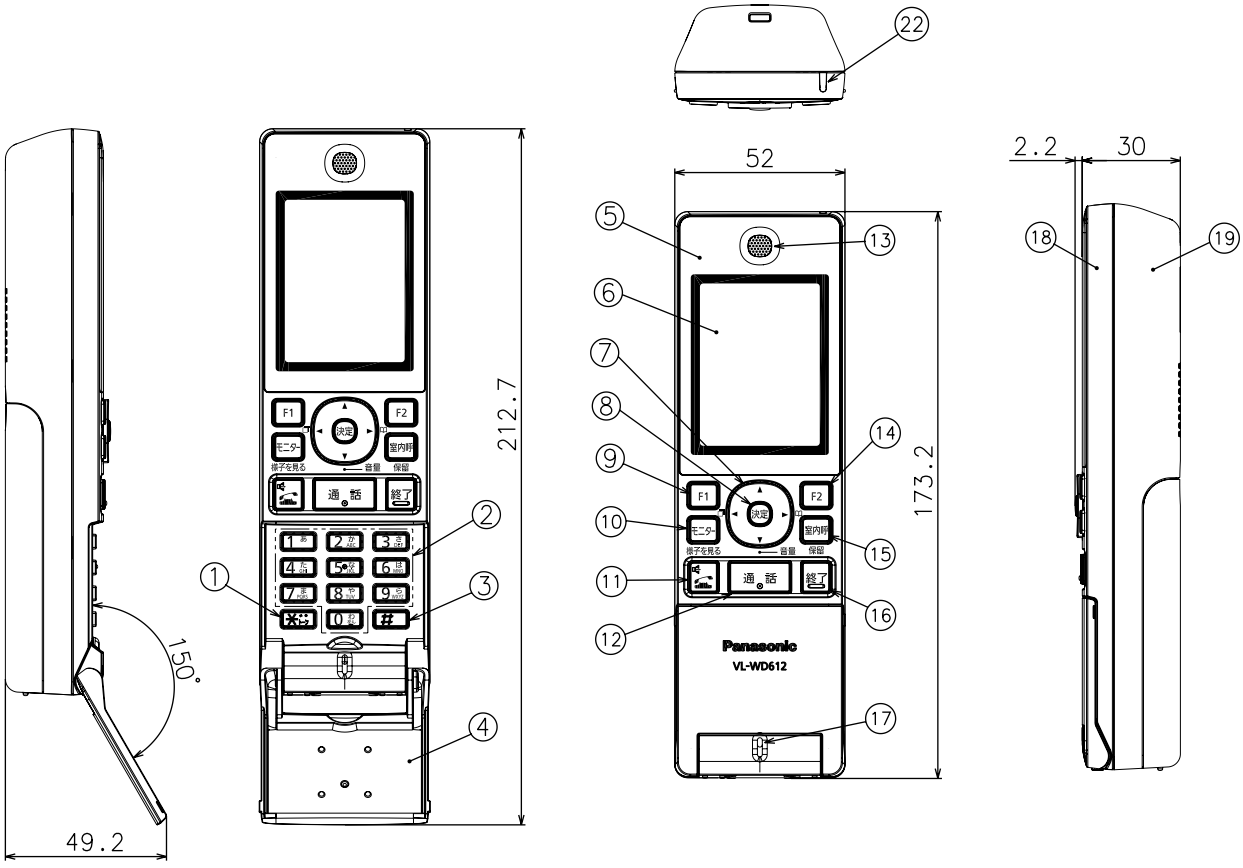
● SDカードの容量と録画件数の目安については（☞ 取扱説明書43ページ）

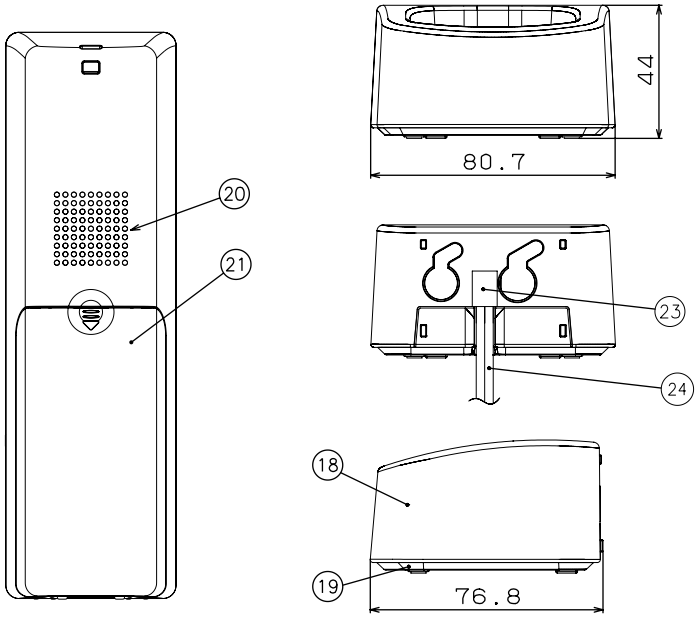
※1　次の場合に出力されます。
- ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき（☞ 取扱説明書34、82ページ）
- 警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき（☞ 取扱説明書102ページ）
- 窓/ドアセンサー（報知レベル「高い」）が反応したとき（☞ 取扱説明書96ページ）

※2　miniSDメモリーカード/microSDメモリーカードも使えます。（専用アダプターの装着が必要）
※3　miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカードも使えます。（専用アダプターの装着が必要）

子機：ワイヤレスモニター子機　VL-WD612

単位 [mm]





番号	名　称
①	✳(スター)ボタン
②	ダイヤルボタン
③	シャープボタン
④	フリップ
⑤	フロントパネル
⑥	液晶ディスプレイ
⑦	マルチファンクションキー
⑧	決定ボタン
⑨	F1ボタン
⑩	モニター(様子を見る)ボタン/ランプ
⑪	電話ボタン/ランプ
⑫	通話ボタン/ランプ
⑬	受話口
⑭	F2ボタン
⑮	室内呼(保留)ボタン
⑯	終了ボタン
⑰	マイク孔
⑱	上ケース
⑲	下ケース
⑳	スピーカー孔
㉑	電池カバー
㉒	充電ランプ
㉓	ACコード固定用ゴム
㉔	ACコード(電源コード)

■付属品

- 充電台…… 1台
- 電池パック …… 1個
- 充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー…… 各2個

■仕　様

〈ワイヤレスモニター子機〉

電　　源	専用ニッケル水素電池(品番：KX-FAN55) (DC 2.4 V)(650 mAh)
外　形　寸　法	高さ 約173 mm × 幅 約52 mm × 奥行 約30 mm(突起部除く)
質　　量	約165 g(電池パック含む)
外　観　色　調	ホワイト
外　観　材　質	ABS樹脂
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃、湿度：90 %以下
画　面　表　示	2.4型TFT　カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式(ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
使　用　時　間 ※1	連続使用時間： • ドアホン通話(スピーカーホン)：約2時間 • 外線通話※2(受話口での通話)：約5時間※3 待ち受け時間：約80時間
充　電　時　間 ※4	約10時間
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

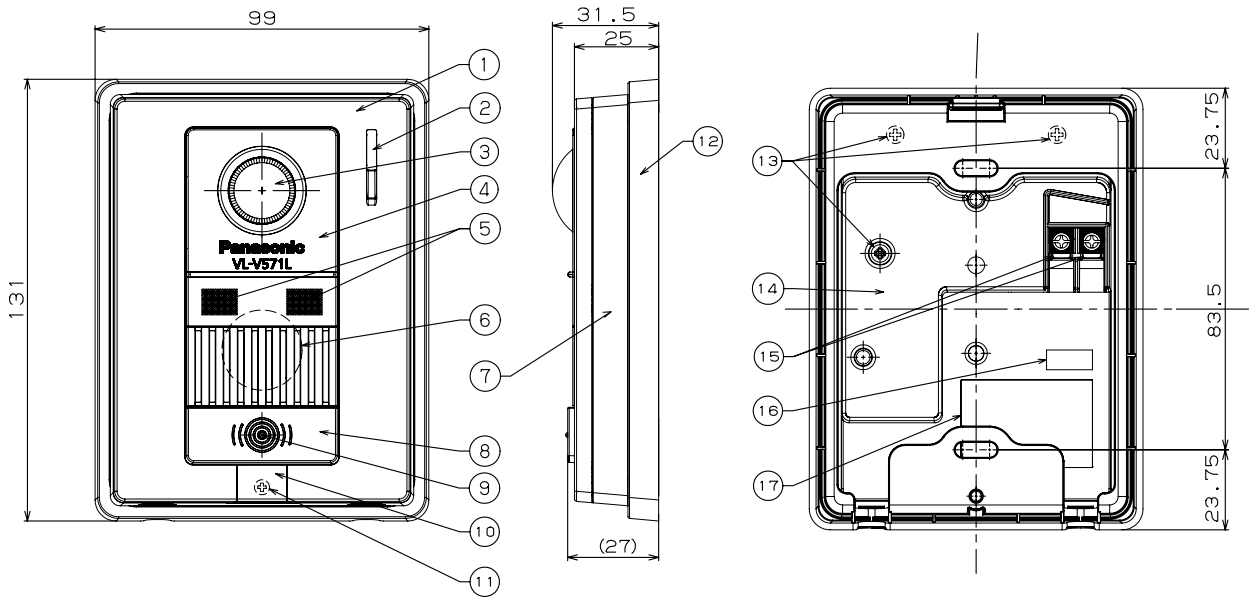
※1　充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
※2　電話/ファクス親機に増設時のみ
※3　スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使う場合は、連続使用時間が短くなります。
※4　使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

〈充電台〉

電　　源	AC100 V(50 Hz/60 Hz)
消　費　電　力	待ち受け時：約0.25 W (子機を充電台から外しているとき) 充　電　時：約0.65 W
外　形　寸　法	高さ 約43 mm × 幅 約81 mm × 奥行 約76 mm (突起部除く)
質　　量	約166 g
外　観　色　調	ホワイト
外　観　材　質	難燃性ABS樹脂
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃、湿度：90 %以下

ドアホン：カメラ玄関子機　VL-V571L

単位 [mm]



番号	名　称
①	フロントパネル
②	マイク孔
③	カメラ部
④	表面パネル
⑤	白色ライト
⑥	スピーカー孔
⑦	上ケース
⑧	呼出ボタン
⑨	位置表示ランプ

番号	名　称
⑩	ねじ隠しカバー
⑪	特殊ねじ
⑫	露出ケース
⑬	上下ケース止めねじ
⑭	下ケース
⑮	DC端子金具
⑯	シリアルNo.ラベル
⑰	銘板(刻印)

■付属品

- 壁掛け用木ねじ(3.8 mm×20 mm)……2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)……2個

■仕　様

電源電圧		待ち受け時：DC 約5 V、動作時：DC 約20 V(ドアホン親機より供給)
消費電流		待ち受け時：DC 約2 mA、動作時：DC 約150 mA
外形寸法		高さ 約131 mm × 幅 約99 mm × 奥行 約25 mm(突起部除く)
質量		約170 g
使用環境条件		周囲温度：−10 ℃～+50 ℃、湿度：90 %以下
画角	ワイド	左右 約170°、上下 約95°
	ズーム	左右 約85°、上下 約45°
	全体	左右 約170°、上下 約115°
取付方法		露出型：JIS1 個用スイッチボックス(カバー付き)適合
外観色調		シルバー
外観材質		難燃性PC/PS樹脂(パネル部：難燃性ABS樹脂)
最低被写体照度		1ルクス(カメラから約50 cm以内)
照明方法		LEDライト(照明用ランプ)
防水性		IPX3※　(旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

※ 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL

お知らせ

お知らせランプ(青)

●新しく録画した未確認画像(☞ 取扱説明書44ページ)や、確認してほしいお知らせがあるとき(☞ 取扱説明書108ページ)に点滅する
• ランプの点滅は、画面にタッチしてトップメニューを表示すると消灯します。

くらしモード

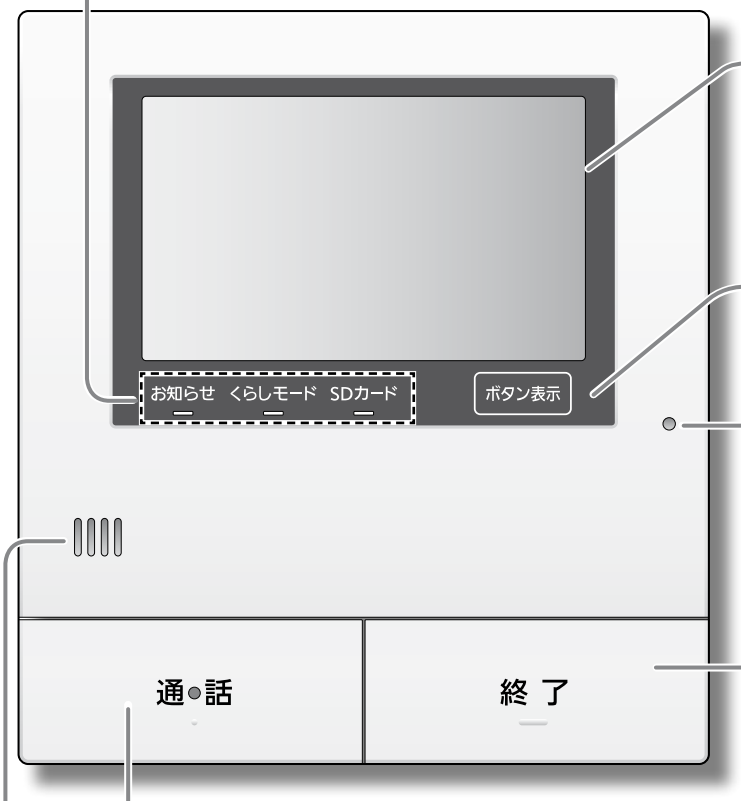
くらしモードランプ(青/赤)

●くらしモード(☞ 取扱説明書53ページ)の現在の設定状態をランプでお知らせする
• 在宅：消灯　• 夜間：青点灯　• 外出：赤点灯

SDカード

SDカードランプ(青)

●SDカードをご使用の場合に、データの読み出し中や書き込み中に点滅する
(☞ 取扱説明書17ページ)



液晶ディスプレイ(タッチパネル)

●タッチすると、トップメニューを表示する
●使いかたや画面の見かたは
(☞ 取扱説明書22、23ページ)

●映像に重なって表示されるタッチボタンやマークを消す(☞ 取扱説明書23ページ)

マイク

終了ボタン

●通話などの操作を終わる
(画面に**[終了]**のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも終了できます)

スピーカー

通話ボタン

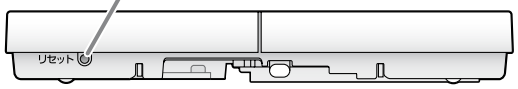
●来客(ドアホン)、子機、カメラ(別売品)側と通話する
(画面に**[通話]**のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも通話できます)

通話ランプ(青：ボタン中央部)

●ドアホンや子機からの着信中(通話応答できる間)は点滅、通話中は点灯する

各部のなまえとはたらき (ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL)	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	7/30

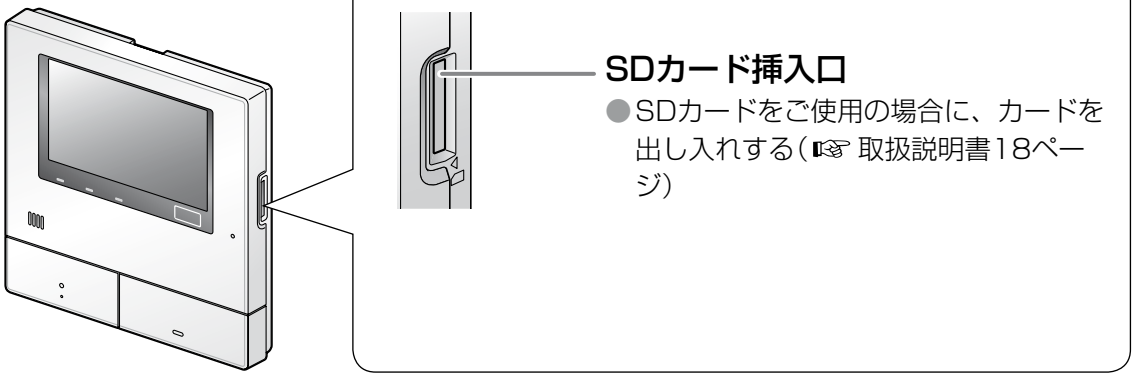
■ 下から見たとき



リセットスイッチ

●動作がおかしいとき、先端の細いもので押してドアホン親機を再起動する（録画した画像、登録した設定内容などは消えません）

■ 横から見たとき



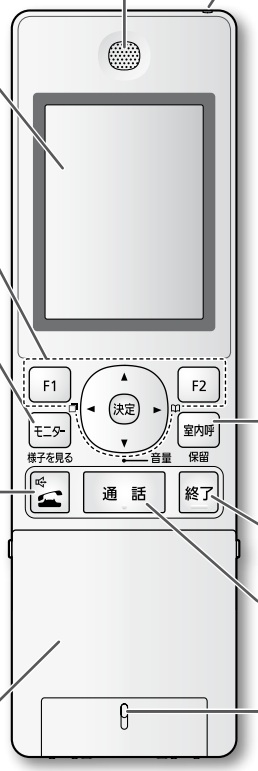
SDカード挿入口

●SDカードをご使用の場合に、カードを出し入れする（☞ 取扱説明書18ページ）

各部のなまえとはたらき （ドアホン親機：モニター親機　VL-MWD501KL）	品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	8/30

子機：ワイヤレスモニター子機　VL-WD612

●電話の機能には、(電　話) と表記しています。(電話/ファクスに増設すると使えます)



受話口

充電ランプ(天面にあります)
●充 電 中：点灯
充電完了：消灯

液晶ディスプレイ
(画面の見かた ☞ 取扱説明書26ページ)

マルチファンクションキー、
F1 、F2 (☞ 取扱説明書25ページ)
●ドアホン側、または連携したカメラ側の様子を見る(☞ 取扱説明書39、81ページ)

●ドアホン親機、別の子機を呼び出す(☞ 取扱説明書37、41ページ)

(電　話)
●通話中に待ってもらう(保留)(☞ 取扱説明書62ページ)
●電話/ファクス親機、別の子機を呼び出す(☞ 取扱説明書66、67ページ)

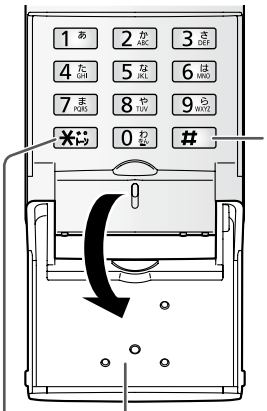
(電　話)
●電話をかける、受ける(☞ 取扱説明書60ページ)
●スピーカーホンで通話する(☞ 取扱説明書61ページ)

●通話などの操作を終わる

●通話する(☞ 取扱説明書35ページ)

マイク(送話口)

フリップ(閉じた状態)



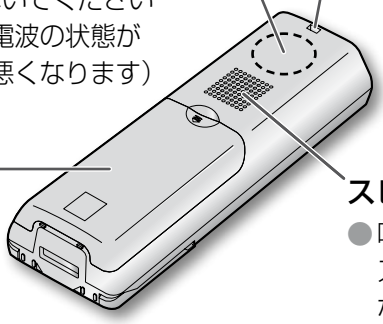
シャープボタン

フリップ
●手前に起こして開ける

(電　話)
＊(スター)ボタン
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う(トーンボタン)(☞ 取扱説明書60ページ)

アンテナ部(内蔵)
●使用中、手でおおわないでください(電波の状態が悪くなります)

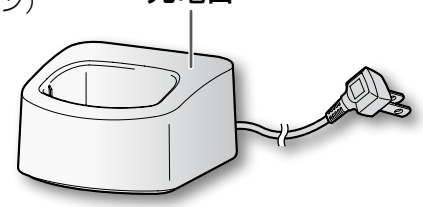
ストラップ取付部
●お手持ちのストラップを取り付けることができます



スピーカー
●呼出音が鳴ったり、スピーカーホン通話などで相手の声が聞こえる

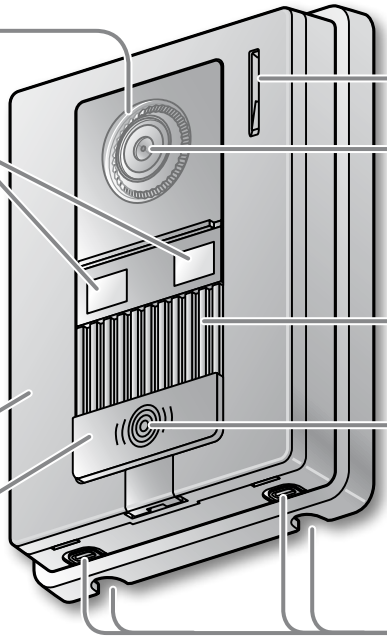
電池カバー
●電池パックを入れたり、交換するときに開ける(☞ 取扱説明書29、152ページ)

充電台



各部のなまえとはたらき (子機：ワイヤレスモニター子機　VL-WD612)	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	9/30

ドアホン：カメラ玄関子機　VL-V571L



レンズカバー

LEDライト（照明用）

●「ドアホン照明自動点灯」設定（☞ 取扱説明書136ページ）により自動で点灯させたり、通話中など
ドアホン親機や子機から手動でON/OFFすることもできる（☞ 取扱説明書124、125ページ）

パネル

呼出ボタン

●押すと呼出音が鳴る
●押し続けながら話すと、下記の**「ただいまコール」**がはたらく

マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

●暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴（4か所）

●雨水を抜くための穴です
ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

①呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

●ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
●室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます

②終わったら、**指を離す**

お知らせ

● ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 取扱説明書129ページ）に連動します。
（「切」設定中は、音量「小」で聞こえます）

ドアホンの画質について

●太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
●カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
●夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
- 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
- LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近（ドアホンの真横など）はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。
（補助灯などの設置をお勧めします）

各部のなまえとはたらき （ドアホン：カメラ玄関子機　VL-V571L）	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	10/30

システム構成図

カメラ玄関子機
（本書の表記：**ドアホン**）

増設もできます
付属と合わせて **2** 台まで
（別売品☞ 12ページ）

ワイヤレスモニター子機
（本書の表記：**子機**）

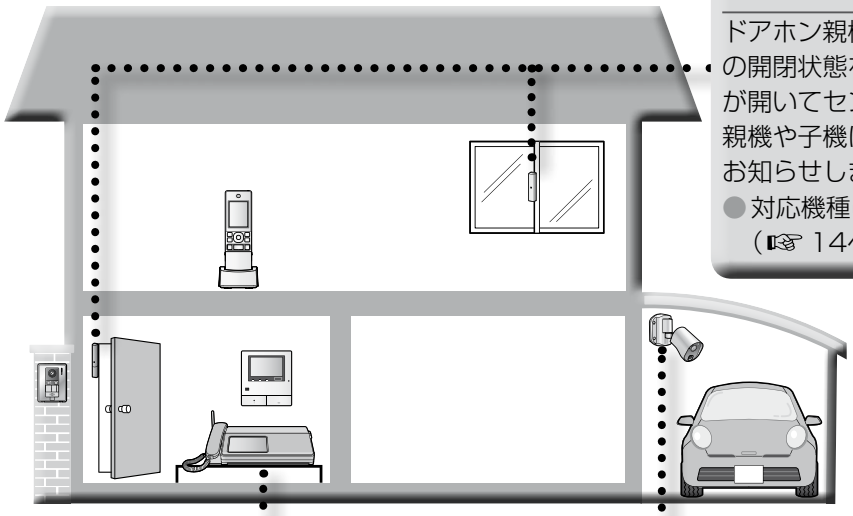
あとから子機を増設できます
付属と合わせて **6** 台まで
（別売品☞ 12ページ）

モニター親機
（本書の表記：**ドアホン親機**）

窓/ドアセンサーと連携する
（☞ 取扱説明書94ページ）

ドアホン親機や子機で、窓/ドアセンサーの開閉状態を確認したり、窓/ドアセンサーが開いてセンサーが反応したときにドアホン親機や子機にお知らせします。
● 対応機種は（☞ 14ページ）

窓/ドアセンサー 合わせて **20**台まで



電話/ファクスと連携する
（☞ 取扱説明書57ページ）

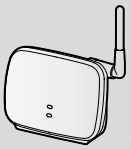
付属の子機（☞ 上記）を登録して電話として使ったり、電話/ファクスでドアホン通話ができます。
● 対応機種は（☞ 14ページ）

1台のみ

中継アンテナ「KX-FKD2」

子機の設置場所が離れていたり、障害物などで電波が届きにくいときに設置すると、電波状態を改善できます。
（☞ 取扱説明書142ページ）

2台まで



センサーライト付屋外ワイヤレスカメラと連携する（☞ 取扱説明書78ページ）

ドアホン親機や子機で、カメラの映像を見たり、録画ができます。
● 対応機種は（☞ 14ページ）

4台まで

こんな機器にもつながります（対応機種など詳細は☞ 13ページ）

- **火災警報器/ガス漏れ警報器/コール機器〈いずれか1種類のみ〉**
- **光るチャイム/メロディサイン/警報ランプ付ブザー/回転灯〈いずれか1種類のみ〉**
- **電気錠やエアコンなど（JEM-A対応機器）**

システム構成図	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	11/30

記載した情報は2013年6月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

別 売 品　**（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）**

■増設用のドアホン(玄関子機)

製　品　名		品　番	希望小売価格(税込)
カメラ玄関子機	露出型（広角レンズ、LEDライト、逆光補正付き）	VL-V571L-S※1	33,600円
	露出型（LEDライト、逆光補正付き）	VL-V522L-S	27,300円
		VL-V521L-S	28,350円
	露出型	VL-V566-S	25,200円
	埋込型	VL-V552-S	44,940円
音声玄関子機	露出型	VL-V500-K	10,290円

※1　付属のドアホンと同じ仕様です。その他のドアホンは仕様や機能が異なります。

■増設用の子機

製　品　名	品　番	希望小売価格(税込)
ワイヤレスモニター子機(ドアホン/電話両用)	VL-WD612 ※2	30,450円
ワイヤレス子機(ドアホン専用、音声タイプ)	VL-WD611	12,600円
増設用カラーモニター子機(ドアホン/電話両用)※3	VS-FKD200-W	オープン価格※4

※2　付属の子機と同じ仕様です。その他の子機は仕様や機能が異なります。
※3　ホームスマートフォンに増設すると電話の子機としても使えます。
※4　オープン価格製品の価格は販売店にお問い合わせください。

■その他

製　品　名	品　番	希望小売価格(税込)
ワイヤレス子機用電池パック	KX-FAN55※5	1,890円
中継アンテナ	KX-FKD2	12,600円

※5　お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります。

連携できる機器一覧

■火災警報器/地震警報器/コール機器〈いずれか**1**種類のみ〉

●連携方法などは(☞ 取扱説明書102ページ)

機器名			品番など
火災警報器	**単独型住宅用火災警報器**※1 **(移報接点付き)**	パナソニック(株)製	けむり当番：SH28413、SH38453K ねつ当番　：SH28113、SH38153K
		能美防災(株)製	煙検知式　：FSKJ219-S 熱検知式　：FSLJ009-S
	移報接点アダプタ※2	パナソニック(株)製	連動型用　　：SH2890 ワイヤレス連動型用：SH3290
ガス漏れ警報器		パナソニック(株)製	SH137K、SH13928
コール機器(コール用押釦)		パナソニック(株)製	WS65771、WS65311

※1 単独型の火災警報器は並列接続できます。(**15台まで**)
※2 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタです。

ドアホン親機 ― 移報接点アダプタ ― 連動型の火災警報器(**14台まで**)

接続できる機種は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください。

■光るチャイム/メロディサイン/警報ランプ付ブザー/回転灯〈いずれか1種類のみ〉

●連携方法などは(☞ 取扱説明書104ページ)

機器名		品番など
光るチャイム	パナソニック(株)製	EC170(P)
メロディサイン※3		乾電池式　　：EC5227W(P) EC5117WKP、EC5347 AC100 V式：EC710K、EC721K、 EC730W
警報ランプ付ブザー	パナソニック(株)製	EA5501
回転灯	(株)パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110

※3 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。
(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

■電気錠やエアコンなど(JEM-A対応機器※4)

●連携方法などは(☞ 取扱説明書105ページ)

機器名		品番など
JEM-Aアダプタ※5	パナソニック(株)製	CZ-TA2
電気錠操作器		WQN4503W

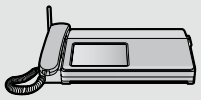
※4 一般社団法人日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。
※5 電気錠やエアコンなどの接続に必要なアダプタです。**(接続は2台まで)**

ドアホン親機 ― JEM-Aアダプタ ― 電気錠操作器(WQN4503W) ― 電気錠
ドアホン親機 ― JEM-Aアダプタ ― 電気錠操作器(WQN4503W) ― 電気錠

電気錠以外のJEM-A対応機器も接続できます。

連携できる機器一覧（続き）

■電話/ファクス、ホームスマートフォン

機　器　名	品　番　な　ど
電話/ファクス 	〈ワイヤレスアダプター機能（内蔵）対応機種〉 電話機　：VE-GDS01/GD21/GD23/GD31/GD51/GD53/GD71 シリーズ ファクス：KX-PD301/PD303 /PD502 /PD551/PD601/PD701/PD702 シリーズ **パナソニック製のドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」での接続はできません。** ●連携方法などは（☞ 取扱説明書57ページ）
ホーム スマートフォン 	〈ワイヤレスアダプター機能（内蔵）対応機種〉 VS-HSP200S ●連携方法などはホームスマートフォンの取扱説明書をお読みください。

■窓/ドアセンサー

機　器　名	品　番　な　ど
窓センサー 	1個用：KX-FSD10 2個用：KX-FSD10W ●連携方法などは（☞ 取扱説明書94ページ）
ドアセンサー 	ECID20A ●連携方法などは（☞ 取扱説明書94ページ）

■カメラ

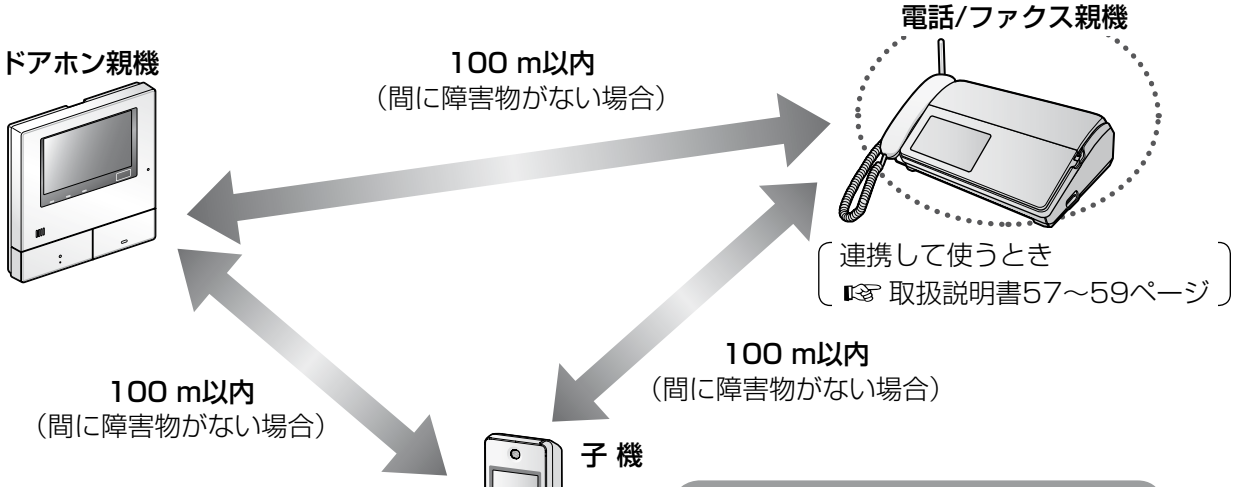
機　器　名	品　番　な　ど
センサーライト付 屋外ワイヤレスカメラ	VL-WD812K ●連携方法などは（☞ 取扱説明書78ページ）

使用上のお願い

こんなところには設置しない（ドアホン親機・子機）

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、施工説明書をよくお読みください

- ●火気・熱器具の近く（変形や故障の原因）
- ●直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- ●温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）
- ●テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- ●CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
  - •受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合（☞ 取扱説明書169ページ）



〈子機での通話について〉

- ●デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- ●補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な通話は親機で！

充電台は…

- ●AMラジオの近くに置かない（AMラジオで雑音が聞こえる原因）
- ●テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かない（充電できないことがあります）

電源プラグは、各機器の設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

〈子機を電話/ファクス親機に増設時〉

子機に登録した電話帳（☞ 取扱説明書68ページ）はメモして保管する

お知らせ

- ●誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって、記録内容が変化、消失することがあります。（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機間の通信について

●距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。※1

- 金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 複層ガラスの窓
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

このとき子機では、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外(☞ 取扱説明書26ページ)となって使えないことがあります。

●上記のような場合、子機とドアホン親機(または電話/ファクス親機)の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。(☞ 取扱説明書142、156ページ)
ただし、**ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**※1

中継アンテナ

※1 親機間の電波が弱いと、電話/ファクスでのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。親機同士をワイヤレスアダプター機能で接続している場合は、ドアホン親機の情報表示画面で電波状態を確認できます。(☞ 取扱説明書108、109ページⒺ)

電波について

●**本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です**
本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。(一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9—D

●**J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。**
J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

●**本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(☞ 取扱説明書178ページ、裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(☞ 取扱説明書178ページ、裏表紙)へお問い合わせください。

設置上のお願い

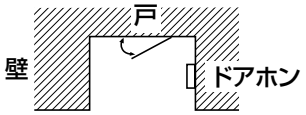
設置場所について

こんなところには設置しない （故障や動作障害などの原因になります）

- 振動、衝撃のあるところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- 反響の多いところ

ドアホンの設置について

- 逆光になる場所への設置は避けてください。
  （来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）
- 下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。



- ドアホンの防水性は下記のとおりです。

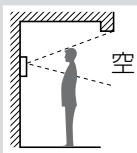
  IPX3※
  （旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」）

  ※ 鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

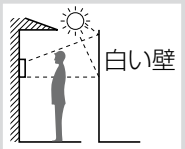
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

〈逆光になる場所〉

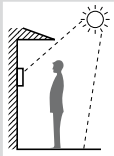
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光が当たるような、明るい玄関



ドアホン親機の設置について

- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近くに設置しないでください。(故障や動作障害などの原因)
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)の近くに設置しないでください。(CSデジタル放送の画像が乱れる原因)
  - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合(☞ 取扱説明書169ページ)
- 本体の上下左右に20 cm以上の空間をとってください。また、壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。（誤動作や通話の途切れ防止）
- 本体を埋め込まないでください。
- ドアホンから5 m以上離してください。
- ワイヤレス連動型用移報接点アダプタ「SH3290」で、火災警報器を接続するとき
  ➡ 移報接点アダプタと火災警報器から、それぞれ1 m以上離してください。
  （近接すると、移報接点アダプタと火災警報器間の電波到達距離が短くなる場合があります）
- その他
  - 本機は、1.9 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。電波についてのご注意など、本書15、16ページもよくお読みください。
  - 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。

工事について

●電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
（1）電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
（2）3 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

●既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値（直流ループ抵抗）を測定のうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 MΩ 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内（配線距離 100 m以内で）

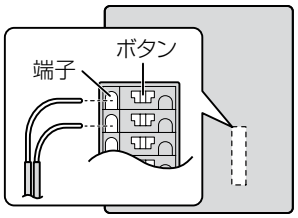
●本機は電気設備技術基準による施工を行う。
- 使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁（電源線とその他の信号配線材の間）を設ける。
- 金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
- 配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。

●ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。
（金属管は必ず大地アースをすること）

●AC100 V以上の電力線（電灯線）とは1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。

●ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
（接続できる線種などについては ☞ 下記「線種と配線距離について」）

<ドアホン親機背面>



配線材を挿入する場合
- 配線材の被ふくを約9 mmむく。
- ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

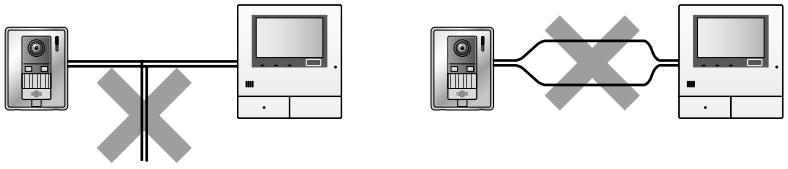
配線材を抜く場合
- ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

●誤配線、ショートなどがないことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。

既設（チャイム/ベル/ブザー/テレビドアホン/音声ドアホン）の配線を使用して本機を取り付けるとき

●**既設の配線に電源（AC100 V、24 Vなど）が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。**（誤って接続すると故障の原因になります）

●**工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種と配線距離を確認してから配線してください。**
- 本書の「線種と配線距離について」の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。
  - 線種がφ1.6 mmのときは、配線材を取り替える
  - 線種が「より線」のときは、指定の方法で接続する（☞ 26ページ「ドアホン親機を取り付ける」の手順3）
- ドアホン親機とドアホン間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。 また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。 正常に動作しないことがあります。



線種と配線距離について

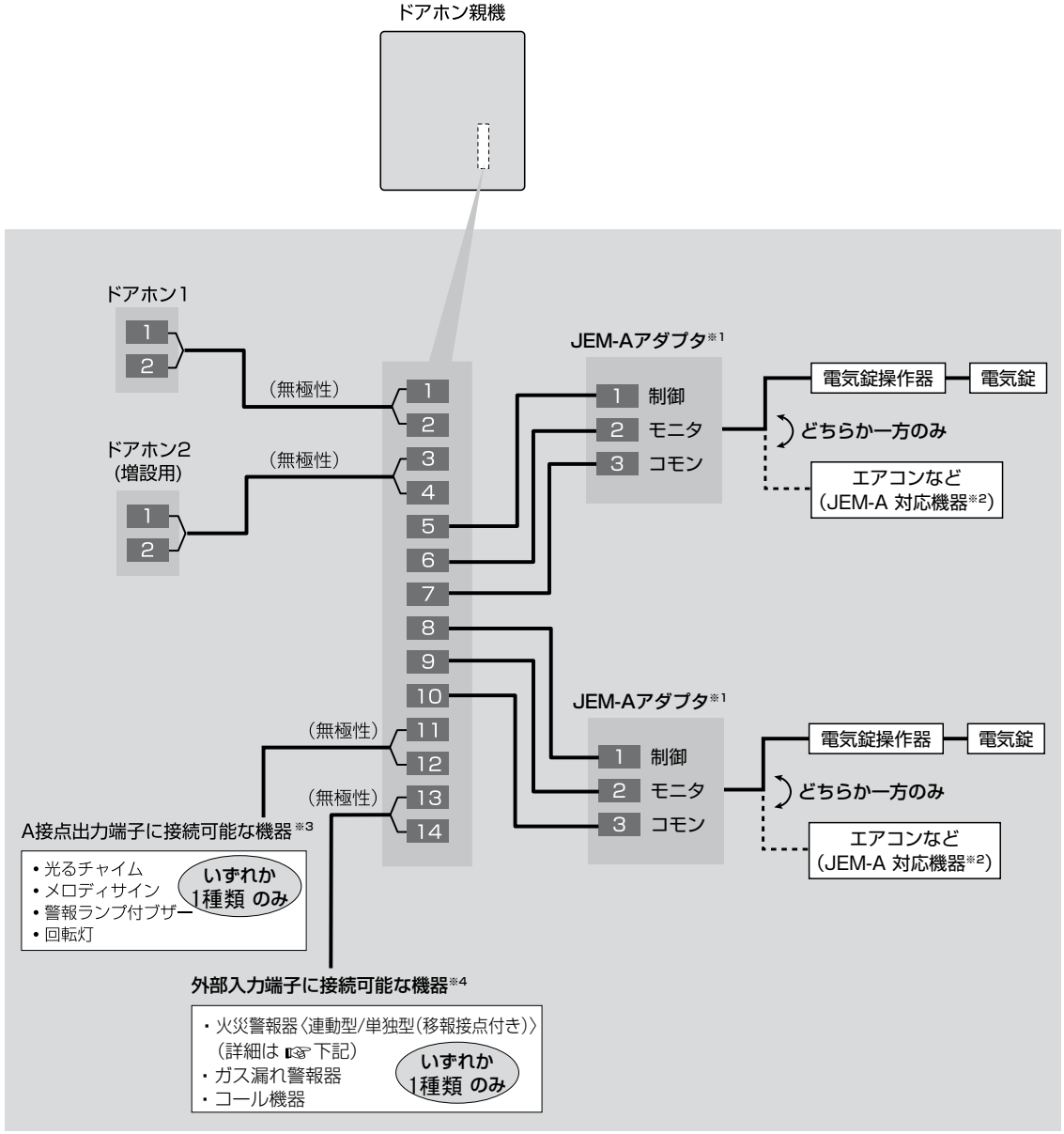
（下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります）

配線区間	線　種	配線距離
ドアホン親機 ～ ドアホン	インターホン用平行 2 線式ケーブル 単芯線（mm）：φ0.65～φ0.8	100 m以内
ドアホン親機 ～ JEM-Aアダプタ	単芯線（mm）：φ0.65 ～φ0.9	30 m 以内
ドアホン親機 ～ A 接点出力端子に接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線（mm）：φ0.65 ～φ0.8	接続する機器の仕様に従う
ドアホン親機 ～ 外部入力端子に接続可能な機器		50 m以内

配線系統図

この配線系統図および「線種と配線距離について」に従って正しく配線してください。

● 接続できる機器について
品番などの詳細は13、14ページをお読みください。



※1 JEM-Aアダプタに接続した機器を操作(ON/OFF)するには、設定が必要です。
設定のしかたは(☞ 取扱説明書105ページ)

※2 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)の標準HA端子をもつ端末機器を指します。

※3 ● **下記の定格に適応した機器を接続してください。並列接続はできません。**
(故障の原因になります)
• 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下　• 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

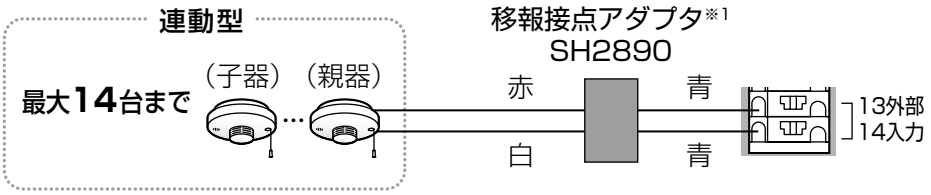
● A接点出力は、ドアホンやカメラ(別売)からの呼び出しに応答すると「OFF」、
応答しないと約30秒間「ON」になります。
(動作の詳細は、接続機器の説明書をご覧ください)

※4 下記の定格に適応した機器を接続してください。
• 入力方式：無電圧メーク接点
• 検出確定時間：0.1秒以上
• 端子間短絡電流：5 mA以下
• 端子間開放電圧：DC 7 V以下
• 接点抵抗値：メーク時 500 Ω以下
ブレーク時 15 kΩ以上

配線系統図	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	19/30

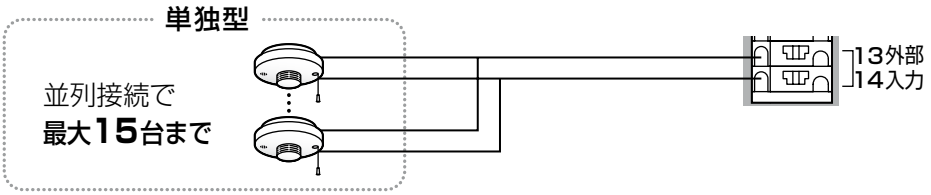
■ 火災警報器を接続するとき（火災警報器のタイプによって接続方法が異なります）

連動型の場合：移報接点アダプタが必要です



- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。（故障の原因）
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。（故障の原因）

単独型（移報接点付き）の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、外部入力端子への入線は、1 端子あたり 1 本にしてください。

※1 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290」を接続することもできます。
- ドアホン親機と「SH3290」間は有線接続です。
- 「SH3290」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。

詳細は、「SH3290」の説明書をお読みください。

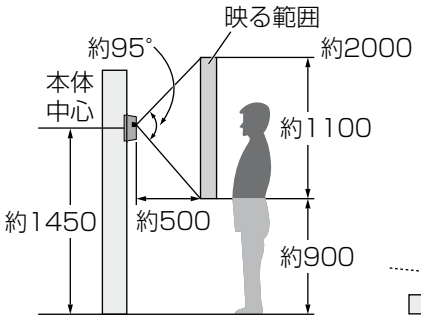
配線系統図	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	20/30

ドアホンの取り付け位置を決める

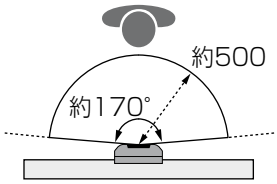
来客から呼び出されたとき(着信時)に撮影する範囲は、ドアホン親機の「ワイド/ズーム設定」でワイド/ズーム/全体表示のいずれかに設定できます。
(お買い上げ時の設定「ワイド」☞ 取扱説明書32ページ)

● 下記は、標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置する場合で、カメラから約500 mm離れた場合の数値です。(単位：mm)

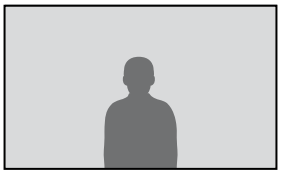
ワイドのとき〈お買い上げ時〉



【上から見た場合】



<ドアホン親機の表示イメージ>



ズームのとき

ワイドで映る範囲の一部を縦横約2倍に拡大表示します。

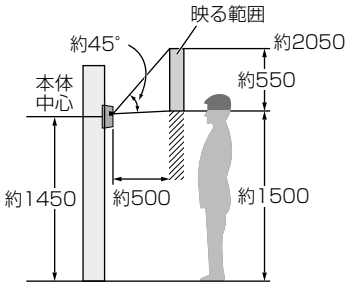
● デジタルズームのため、ワイドや全体表示に比べて画質が粗くなります。

<ドアホン親機の表示イメージ>

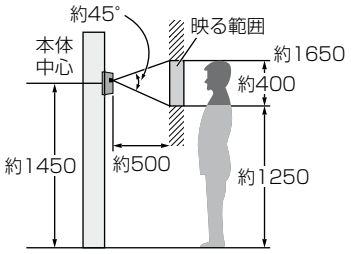
●ズーム時に映る範囲は、ドアホン親機の「ズーム位置設定」で任意の位置から選べます。
下記を参考にドアホン親機で設定してください。（☞ 取扱説明書33ページ）

上下方向

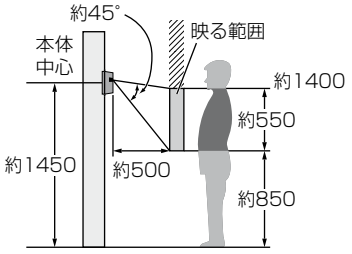
【上】



【中央】お買い上げ時

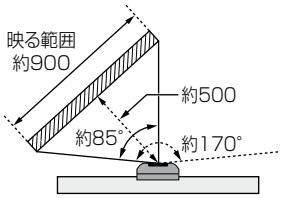


【下】

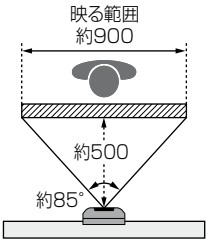


左右方向（上から見た図）

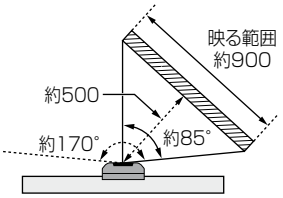
【左】



【中央】お買い上げ時

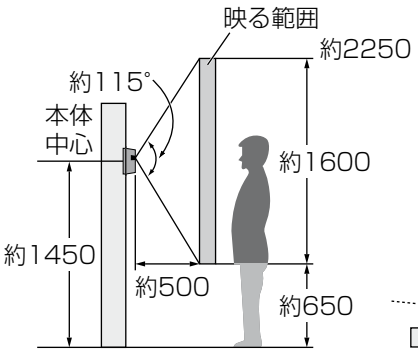


【右】

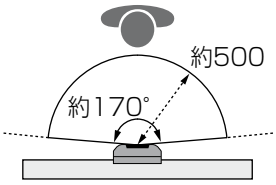


全体表示のとき

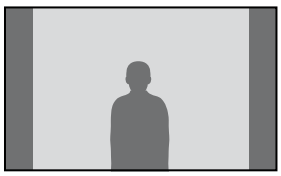
ワイドに比べて上下が少し広く映ります。



【上から見た場合】



<ドアホン親機の表示イメージ>



ドアホンの取り付け位置を決める	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	22/30

エントランスポール、サインポスト、カメラ角度調節台への取り付けについて

取り付ける場所や位置に応じて下記の機器をご利用ください。

広角レンズのため、ドアホンの周囲にポストなどが設置されると、撮影範囲にポストの一部が映り込み、適正な映像範囲が得られないことがあります。

● エントランスポールやサインポスト：パナソニック(株)製　（2013年6月現在）

エントランスポール （機能門柱）	アーキフレーム(A～D、F、Gタイプ)、アーキッシュポール、 ECSS(エックス)ユーロポール、ECSS(エックス)ポール、MOOD(ムッド)ポール、 アルモナ
サインポスト （郵便ポスト）	GS型、SS型、SP型

● カメラ角度調節台：当社製 （2013年6月現在）

品　番	備　考	
VL-1301A	縦用	補正角度：上下方向 6°
VL-1302A	横用	補正角度：左右方向 30°

ドアホンの取付角度を変えることができます。
詳しくは、カメラ角度調節台の説明書をお読みください。

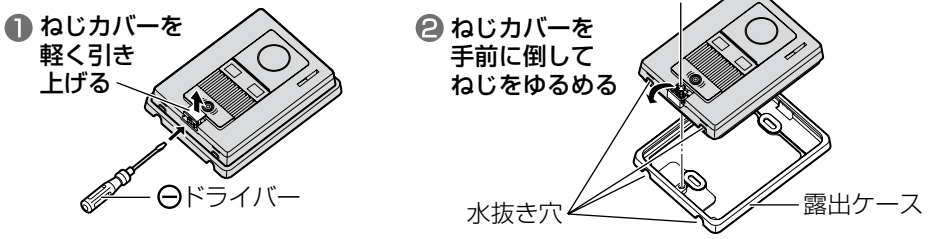
＜エントランスポールやサインポストに取り付けるとき＞

- エントランスポールやサインポストの説明書に従い、正しく取り付けてください。
- サインポストへの取り付けの場合
  - ➡ 蛍光灯回路(AC100 V)とは別のケーブルを使用し、新しく配線してください。
  - ➡ カメラ角度調節台(別売品)は、使用できません。

ドアホンを取り付ける

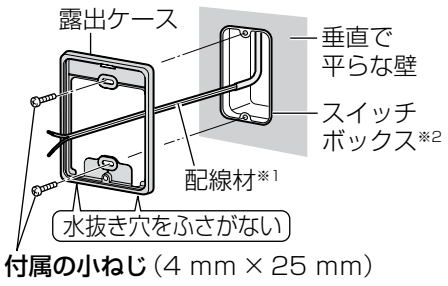
落雷による破損防止のため、屋外配線には避雷器を取り付けるか保護管を使用して埋設してください。

1 露出ケースを外す

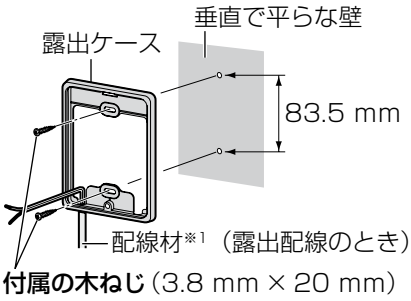


2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合

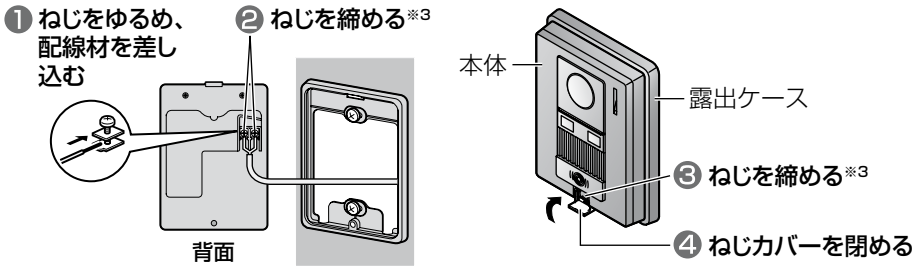


※1 〈既設の配線を使用する場合〉

壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線（AC100 V など）の可能性があります。
工事は販売店にご相談ください。（電気工事士の資格がないと、電源工事はできません）

※2 JIS 1 個用スイッチボックス（カバー付き）
- カバーなしには取り付けられません。
- 底面に穴（スリット）がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

3 配線材を接続し、本体を取り付け、固定する

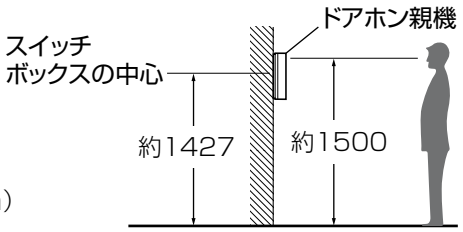


※3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m（7 kgf・cm）以下に設定してから固定してください。

ドアホン親機の取り付け位置を決める

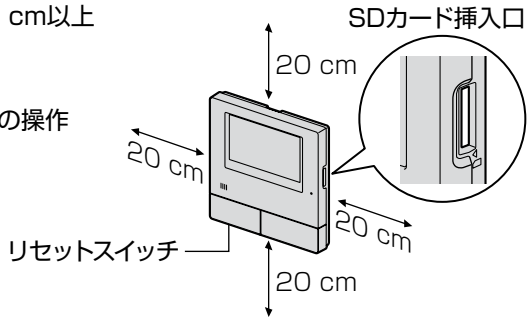
●本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。

（例）床から約1500 mmの高さに画面の中心がくるように
取り付けるとき

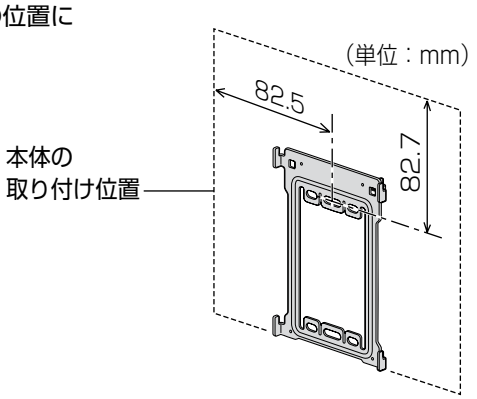


（単位：mm）

●本体の上下左右には、下記のための空間を20 cm以上とってください。
- 誤動作や通話の途切れ防止
- SDカードの出し入れや、リセットスイッチの操作
（SDカード挿入口は本体側面に、
リセットスイッチは本体底面にあります）



●本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は右図の位置に取り付けてください。

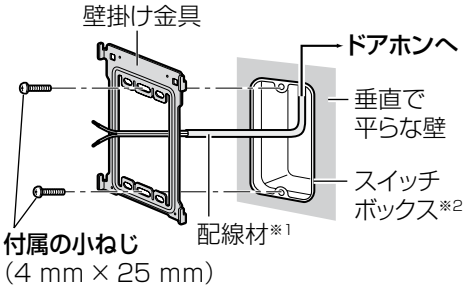


ドアホン親機を取り付ける

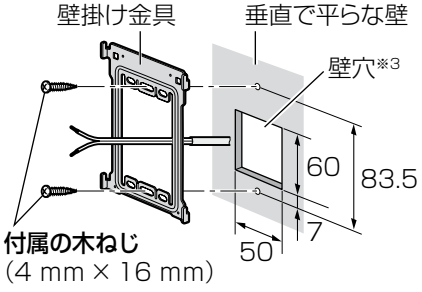
1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

（単位：mm）

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合



※1 〈既設の配線を使用する場合〉

壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線（AC100 V など）の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。（電気工事士の資格がないと、電源工事はできません）

※2 JIS 1 個用スイッチボックス（カバー付き）
- カバーなしには取り付けられません。
- 電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴をあけてください。

■ パネル壁（石こうボード）の場合

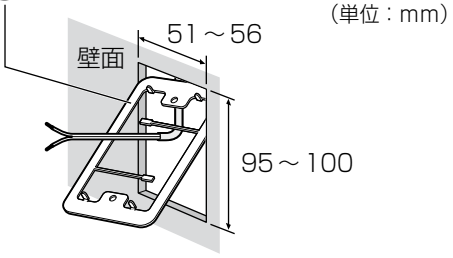
壁に下図のように穴をあけ、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

はさみ金具：パナソニック（株）製

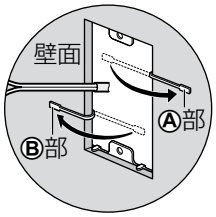
品 番	対 象 壁
WN3996020	9 mm～30 mm厚の石こうボード

❶ はさみ金具を壁面の裏側に入れる

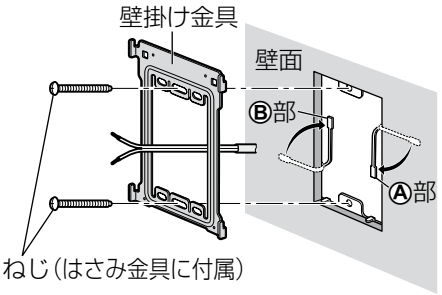
（単位：mm）



❷ Ⓐ部・Ⓑ部を図のように折り曲げ、はさみ金具を壁面に仮固定する



❸ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで仮止めする



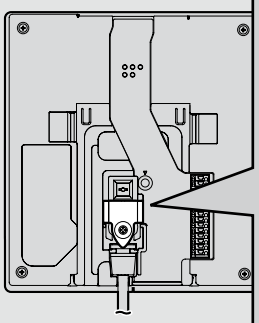
❹ Ⓐ部・Ⓑ部を壁端面まで戻し、ねじを締めて固定する

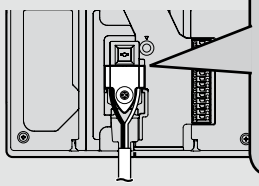
●Ⓐ部・Ⓑ部を、壁掛け金具と壁面に挟み込まないようにしてください。

AC100 V 電源線を直結する場合のみ
（電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください）

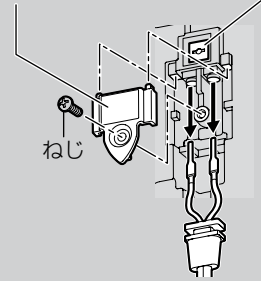
2 電源コードを取り外し、AC100 V電源線を接続する

〈ドアホン親機背面〉





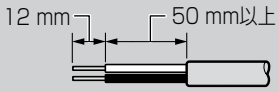
❶ カバーを取り外す



❷ ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

❸ AC100 V電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく
（線種:φ1.6～φ2.0単芯線）



⚠注意

奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む

〈AC100 V電源線接続端子断面図〉

❹ カバーを取り付ける

《電源線の処理について》

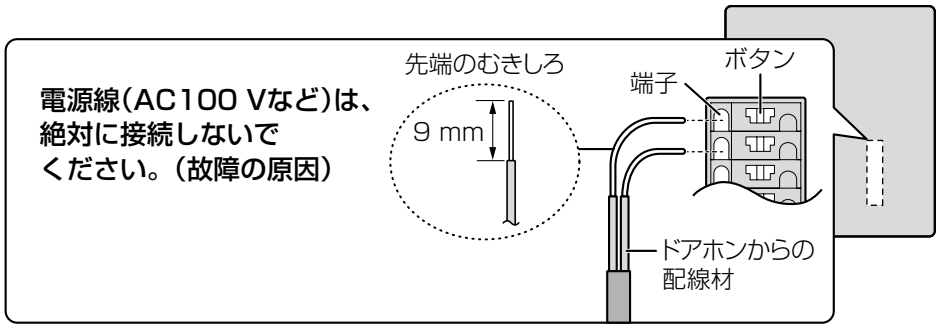
取り付け時に壁掛け金具で挟み込まないように注意してください。

※このような状態で無理に壁掛け金具に取り付けないでください。

ドアホン親機を取り付ける	品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	27/30

3 配線材を接続する

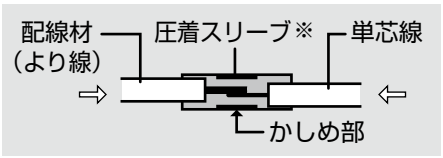
- 配線系統図(☞ 19ページ)に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。



配線材の線種が「より線」の場合

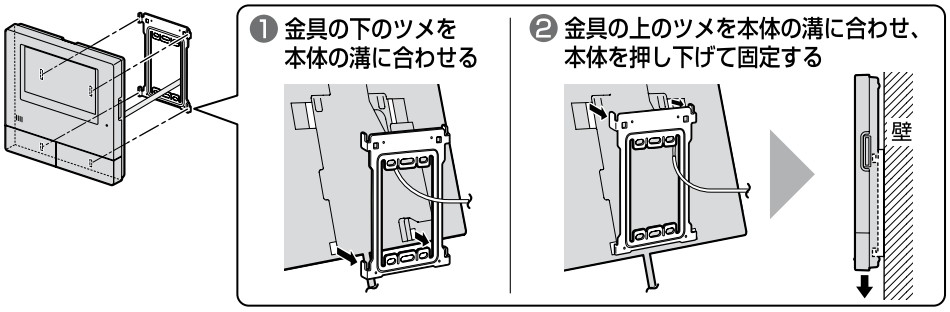
●単芯線と結線して使用するとき

結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線(50 mm以上)と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。
(結線部をよじっただけでは、接触不良になるおそれがあります)



※ 手順4で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

4 ドアホン親機を取り付ける



5 [電源プラグで使用する場合のみ]

電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100 V)に差し込む

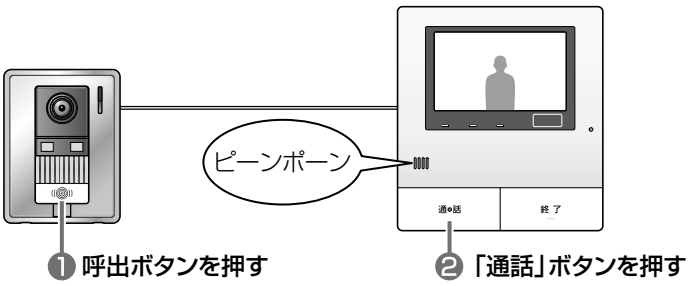
正しく動作するか確認する

取り付け・接続後、正しく配線できているか下記の手順で動作を確認してください。

❶ ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する

❷ ドアホン親機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認する

- 確認が終わったら、ドアホン親機の「終了」ボタンを押す

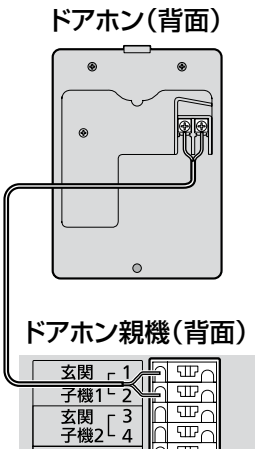


ドアホン親機が動作しないとき

正しく配線されていない可能性があります。
次のことを確認してください。

- ドアホン側、ドアホン親機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか？
- 正しく接続したのにドアホン親機が鳴らない場合、壁内での配線に異常がある可能性があります。下記の手順で、確認してください。

①いったんドアホンを外してドアホン親機の近くに持っていく
②短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ
③再度、動作を確認する
➡ 正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。
配線を確認してください。



ドアホン親機を取り付ける (正しく動作するか確認する)	品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	29/30

ズームに設定して使いたいとき

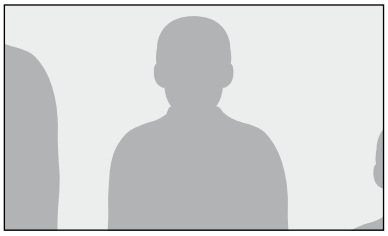
ドアホンからの呼び出し映像を「ズーム」で表示するようにしたいときは、ドアホン親機で下記の設定をしてください。

「ワイド/ズーム設定」を「ズーム」に変更する

● 設定のしかたは ☞ **取扱説明書32ページ**

ワイド（お買い上げ時の設定）

ズーム



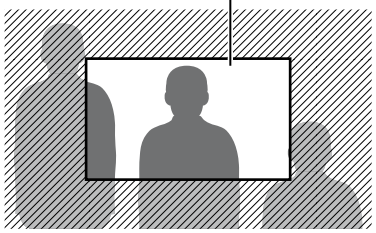
縦横約2倍に拡大表示

デジタルズームのため、ワイドに比べて画質が粗くなります

「ズーム位置設定」でズーム位置を決める

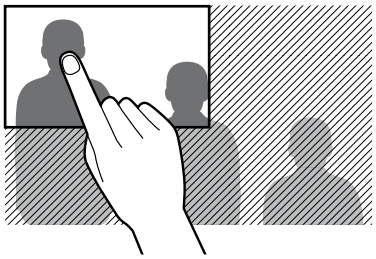
● 設定のしかたは ☞ **取扱説明書33ページ**

ズーム位置



中央（お買い上げ時）

映る範囲（ズーム位置）を、任意の位置から選んで設定します



ドアホン親機を取り付ける (ズームに設定して使いたいとき)	品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン	品番	VL-SWD501KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2013年6月	変更	年　月	30/30